

資料紹介 戦前の静岡県史資料等（その1）

歴史文化情報センター

はじめに

平成 26 年、静岡県立中央図書館職員が、館内の未整理資料箱中に戦前の行政資料があることに気付いた。この情報を受け静岡県立歴史文化情報センター及び県法務文書課職員が実見したところ、戦前に刊行された静岡県史に関わる行政資料（以下「戦前の県史資料」という）、戦前の静岡県史跡名勝天然記念物調査に関わる資料（以下「史跡名勝等資料」という）、大正 10 年に実施された軍事演習を皇太子（昭和天皇）が視察された時の行政資料（以下「宮廷関係資料」という）、県内学校衛生会規則（以下「学校関係資料」という）、献上品と思われる机の写真（以下「写真資料」という）など計 86 点の資料があった。

これら資料は現在調査中であるため、今回は戦前の静岡県史資料について概要を述べ、次回以降の「葵」でその詳細を紹介していくことにしたい。

1 戦前の静岡県史

大正 15 年から昭和 19 年まで実施された戦前の静岡県史編纂事業については、織田元泰氏が『予算及委員会関係綴』という資料等を基に詳しく考察されている（注 1）。また、『静岡県史研究』創刊号では、戦前の県史編さん担当であった加藤菅根氏から編纂事業の聞き取りが掲載されている（注 2）。

今回発見された資料は織田氏が用いた資料以外の可能性があること、また、『静岡県史研究』で菅根氏が「未刊のまま」述べている「県内の小字地名表」が含まれている点等が注目される。

まず、戦前の県史編さん事業の概要について織田氏の研究を基に概要を述べてみよう。

(1) 戦前の静岡県史編纂事業について

大正 15 年（1926 年）から開始された県史編さん事業は実質昭和 19 年（1944 年）まで継続されたが、戦争によりこの年で中断された。参加した顧問、委員、職員は計 33 名（表 1 「県史編さん組織」参照）で、当時すでに大家であった考古学者の高橋健自氏、歴史学者の黒板勝美氏、辻善之助氏を顧問とし、編纂委員 21 名、職員（交替人数含む）9 名である。事業担当部署は内務部学務課県史編纂係で、事務所は静岡県立中央図書館の前身である県立葵文庫（現在の静岡市青葉小学校跡地）に置かれた。

	執筆者、職員等	期間
顧問	高橋 健自	昭和3年7月20日嘸、昭和4年10月19日卒去
	黒板 勝美	昭和6年1月16日嘸
	辻 善之助	昭和6年1月16日嘸
編纂委員	別府 了栄	大正15年5月8日嘸、昭和3年3月解
	貞松 修蔵	大正15年5月8日嘸
	鈴木 惣作(県属)	大正15年5月8日嘸、昭和2年12月21日解
	神田 逸二	大正15年5月8日嘸、大正15年9月解
	山田 覚蔵	大正15年9月28日嘸
	清水 吉彦	大正15年11月30日嘸
	増田 又右衛門	大正15年11月30日嘸
	秋口 常太郎(県属)	昭和2年12月嘸、昭和3年8月29日解
	高柳 光壽	昭和3年5月19日嘸
	高橋 勇	昭和3年7月20日嘸
	菅根 貫一(県属)	昭和3年12月1日嘸
	相田 二郎	昭和6年5月17日嘸
	石田 茂作	昭和6年5月17日嘸
	服部 義雄	昭和7年2月嘸
	内山 旭	
	伊藤 源作	
	酒井 欣策(県属)	
神戸 陽(県属)		
加藤 忠雄		
井野辺 茂雄		
戸塚 一男		
編纂係職員	足立 敏太郎	大正15年4月2日、昭和7年11月18日(編纂主事)
	石原 小一郎	大正15年6月30日、昭和4年4月31日(書記)
	横沢 千秋	大正15年5月22日、昭和2年6月30日(書記)
	加藤 菅根	昭和5年7月10日、昭和16年12月28日(書記、主事補、囑託、事務囑託)
	皆川 剛六	昭和9年度、昭和17年度(主事補)
	渡辺 能隆	昭和15年度(主事補)
	青山 於菟	昭和16年度、昭和18年度(事務囑託)
	山田 覚蔵	昭和17年度、昭和19年度(事務囑託、主事補)
	柘植 清	昭和17年7月13日、昭和20年度(主事補)

表 1 県史編纂係組織（注 1 論文により作成）

刊行された県史は通史編3巻、史料編5輯の計8巻である（表2「県史刊行書名」参照）。これは戦争で中断されたため、織田氏によれば当初、通史6巻（明治4年まで）、史料編6輯が計画されていたらしい。

予算は大正15年度当初4,049円が計上されており、毎年度変更されながら昭和19年度までに計104,185円が計上されている（注1）。戦時中の国費削減の折、県当局の県史に掛ける熱意がうかがわれる。

書名		主な内容	発行年月日
静岡県史	第1巻	地理、考古	昭和5年3月25日
静岡県史	第2巻	史料概説、上古～奈良時代	昭和6年3月25日
静岡県史	第3巻	平安時代～鎌倉初期	昭和11年12月20日
静岡県史料	第1輯	金石文、古文書(賀茂郡～沼津市)	昭和7年3月25日
静岡県史料	第2輯	古文書(富士郡～清水市)	昭和8年3月25日
静岡県史料	第3輯	古文書(安倍郡～志太郡)	昭和9年9月5日
静岡県史料	第4輯	古文書(榛原郡～周智郡)	昭和13年3月25日
静岡県史料	第5輯	古文書(磐田郡～引佐郡)	昭和16年3月31日

表2 県史刊行書名（注1論文により作成）

(2) 発見された戦前の県史資料

今回発見された戦前の県史資料は35点で、その目録は「表3 戦前の県史資料目録」のとおりである。この資料には以下とおり3種類の資料に分類できる。

資料番号1～4の大正15年度～昭和4年度の「予算差引簿」（決算書類）、資料番号5、6の県史第3巻（通史編第3巻）の送付状と内容見本（県史見本）、資料番号7～35の県内小字調査に関わる資料である。この小字調査資料29点はさらに資料番号7～9の調査に関するもの（以下「小字1次調査」という）と、資料番号10～35の調査に関するもの（以下「小字2次調査」という）とに2分できる。

昭和8年度に実施された小字1次調査資料は、同年11月30日付けで学務部長から県内各市町村へ各地の小字を調べるよう依頼したもの（資料番号7）で、その理由として関東大震災により小字調査が消滅したためとしている。資料番号8は11月30日の依頼の回答控である。当年度内に回答した市町村を記している。資料番号9も回答した市町村を記した控えであるが、日付が昭和8年11月21日となっているので、先の11月30日付け依頼書よりも前に同様の依頼書を市町村に送付したのであろう。

昭和11年度に実施された「小字2次調査」は、先の小字1次調査では読み方のわからない小字が多いため、小字にフリ仮名を付ける調査依頼である。資料番号10がその依頼書で、資料番号11番依頼書に添付された標記例示表である。資料番号12は昭和11年度内に回答状況結果で、資料番号13は未回答の市町村への回答督促状況、資料番号14は昭和15年度の回答集計である。昭和11年に依頼した小字状況の回答が全て完了するまで約3年を有していたことがわかる。ちなみに資料15は昭和14年7月6日付けの水窪町役場（現在の浜松市天竜区水窪町）からの回答書で、かなり乱雑な手書き文字で小字名が記入されている。よほど慌てて作成したのであろうか。

資料番号16～35タイプ打ちされた小字名（漢字）とその読み仮名を一覧表である。発見された資料は県内全てのものではないが、昭和15年度には事業が完成したと思われる。先に触れた加藤菅根氏の業績であり、氏が聞き取りの際「あれ、みんなタイプで打つといたんですよ。」と発言されている資料である。

以上の戦前の県史資料については、次回の『葵』でも詳細を述べてみたい。

資料番号	簿 冊 名	件 名	年度	文書年月日	作成室(課)	備考
1	大正15年度予算差引簿	大正15年度予算差引簿	大正15年度		静岡県史編纂係	
2	昭和 2年度予算差引簿	昭和2年度予算差引簿	昭和2年度		静岡県史編纂係	
3	昭和 3年度予算差引簿	昭和3年度予算差引簿	昭和3年度		静岡県史編纂係	
4	昭和 4年度予算差引簿	昭和4年度予算差引簿	昭和4年度		静岡県史編纂係	
5	静岡県史 第3巻 内容見本及領布規定	静岡県史 第3巻 内容見本及領布規定	昭和11年度			
6	静岡県史第3巻刊行について	静岡県史第3巻刊行について	昭和11年度	(施)昭12. 3.	県史編纂係	
7	土地小字名調査に関する件依頼	土地小字名調査に関する件依頼	昭和8年度	(施)昭 8.11.30	学務部長	
8	小字名調査に関する控	小字名調査に関する控	昭和8年度	推定昭和8年3月末日		11月30日依頼書の回答控
9	土地小字名調査に関する控	土地小字名調査に関する控	昭和8年度	昭和8年11月21日		
10	大字名小字名呼名調査に関する件依頼	大字名小字名呼名調査に関する件依頼	昭和11年度	(施)昭12. 2.23	県史編纂係	
11	書名50音排列規準	書名50音排列規準	昭和11年度	推定昭和12年2月23日		2月23日依頼書の添付資料?
12	(大字名小字名呼名調査に関する件依頼の回答状況)	(大字名小字名呼名調査に関する件依頼の回答状況)	昭和11年度	推定昭和12年3月末		2月23日依頼書の回答状況
13	(大字名小字名呼名調査に関する件依頼の回答督促状況)	(大字名小字名呼名調査に関する件依頼の回答督促状況)	推定昭和14年度	推定昭和15年1月		
14	(大字名小字名呼名調査に関する件依頼の回答集計)	(大字名小字名呼名調査に関する件依頼の回答集計)	推定昭和15年度			
15	(大字名小字名呼名調査に関する件依頼の水窪町役場回答)	(大字名小字名呼名調査に関する件依頼の水窪町役場回答)	推定昭和14年度	推定昭和14年7月6日	水窪町役場	
16	(大字名小字名一覽表)(田方郡西豆)	(大字名小字名一覽表)(田方郡西豆)	推定昭和15年度			
17	(大字名小字名一覽表)(田方郡北上)	(大字名小字名一覽表)(田方郡北上)	推定昭和15年度			
18	(大字名小字名一覽表)(田方郡網代)	(大字名小字名一覽表)(田方郡網代)	推定昭和15年度			
19	(大字名小字名一覽表)(田方郡伊東)	(大字名小字名一覽表)(田方郡伊東)	推定昭和15年度			
20	(大字名小字名一覽表)(田方郡函南)	(大字名小字名一覽表)(田方郡函南)	推定昭和15年度			
21	(大字名小字名一覽表)(田方郡北狩野)	(大字名小字名一覽表)(田方郡北狩野)	推定昭和15年度			
22	(大字名小字名一覽表)(周智郡水窪)	(大字名小字名一覽表)(周智郡水窪)	推定昭和15年度			
23	(大字名小字名一覽表)(周智郡山梨)	(大字名小字名一覽表)(周智郡山梨)	推定昭和15年度			
24	(大字名小字名一覽表)(周智郡宇刈)	(大字名小字名一覽表)(周智郡宇刈)	推定昭和15年度			
25	(大字名小字名一覽表)(周智郡熊切)	(大字名小字名一覽表)(周智郡熊切)	推定昭和15年度			
26	(大字名小字名一覽表)(周智郡大居)	(大字名小字名一覽表)(周智郡大居)	推定昭和15年度			
27	(大字名小字名一覽表)(周智郡気多)	(大字名小字名一覽表)(周智郡気多)	推定昭和15年度			
28	(大字名小字名一覽表)(周智郡城西)	(大字名小字名一覽表)(周智郡城西)	推定昭和15年度			
29	(大字名小字名一覽表)(周智郡三倉)	(大字名小字名一覽表)(周智郡三倉)	推定昭和15年度			
30	(大字名小字名一覽表)(周智郡一宮)	(大字名小字名一覽表)(周智郡一宮)	推定昭和15年度			
31	(大字名小字名一覽表)(周智郡森)	(大字名小字名一覽表)(周智郡森)	推定昭和15年度			
32	(大字名小字名一覽表)(周智郡園田)	(大字名小字名一覽表)(周智郡園田)	推定昭和15年度			
33	(大字名小字名一覽表)(周智郡飯田)	(大字名小字名一覽表)(周智郡飯田)	推定昭和15年度			
34	(大字名小字名一覽表)(周智郡久努西)	(大字名小字名一覽表)(周智郡久努西)	推定昭和15年度			
35	(大字名小字名一覽表)(周智郡天方)	(大字名小字名一覽表)(周智郡天方)	推定昭和15年度			

表3 戦前の県史資料目録

2 県史資料以外の資料

冒頭で触れたとおり県史資料以外にも「史跡名勝等資料」30点、「宮廷関係資料」17点、「学校関係資料」2点、「写真資料」2点が存在するが、その目録及び詳細は別稿に委ねたい。

注1 「静岡県史編纂事業覚書」『葵』17号昭和58年2月 静岡県立中央図書館

注2 「戦前の静岡県史編さんの思い出—加藤菅根先生を訪ねて—」『静岡県史研究』創刊号昭和61年静岡県

注3 戦前の県史編纂事業で収集資料した資料は、「静岡県史編纂資料」という名称で静岡県立中央図書館にて閲覧公開している。今回新発見資料とした資料も既に織田元泰氏の既知である可能性もあるが、氏の論文に既出していなかったためここに掲載した。

注4 資料調査には法務文書課の協力を得た。